

井田川南まち協だより

井田川地区南まちづくり協議会
 亀山市和田町813番地
 TEL 0595-82-2004
 令和2年6月15日
 e-mail idagawa.m@zc.ztv.me.jp

まちづくり協議会会長の挨拶

井田川南にお住まいの皆様、日頃からまちづくり協議会の事業運営にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて、2020年は「新型コロナウイルス」が世界的に流行して日本各地にも感染拡大し、国から4月7日から4月末までの期間の予定で「緊急事態宣言」が発せられ、その後5月14日に三重県は「緊急事態宣言」は解かれましたが、まだまだ警戒が必要と思われまます。三密と言われる行動の自粛が引き続き必要です。この時期いろいろな総会が書面議決を余儀なくされました。第2第3の波が怖いと専門家の意見がありますが、この試練を皆で乗り越えましょう。申し遅れましたが、今年度から会長を務めさせていただきます、栄町の川戸でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。今年度の事業はコロナ感染予防の為、いくつかの事業が中止を余儀なくされ誠に残念です。今までに経験のない出来事にとまどいながら一日も早い「新型コロナウイルス」の終息を祈るばかりです。最後になりましたが、皆様に信頼されるまちづくり活動を展開してまいりますので、ご協力とご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



井田川地区南まちづくり協議会会長 川戸 重秋

井田川地区南まちづくり協議会 令和2年度総会の開催

新型コロナウイルス感染症の発生で感染拡大を防止するため、5月末までという期限をつけて、政府から緊急事態宣言が発令され、多くの人が集まることをやめる（密集）、人と人が接近することを避ける（密接）、換気の悪い場所での集まりを避ける（密閉）との事で新型コロナウイルスに感染することを、できるだけ少なくするという行動が求められています。

そういったことから、自治会やまちづくり協議会の令和2年度総会を従来と同じ様にできないというのが現状です。そこで、井田川地区南まちづくり協議会総会は、総会代議員の方々に総会資料と書面表決書をお配りし、書面表決をして頂きました。その結果、賛成多数で全ての議案が承認されました。そして、長い間お世話になりました松上会長が退任され、栄町の川戸重秋さんに会長職を引き受けて頂きましたので、今まで通りご支援頂きます様、よろしくお願い致します。（*印の方は新役員の方です）

役職名	氏名		役職名	氏名		役職名	氏名	
会長	川戸 重秋	栄町	理事	国分 武	井田川町	理事*	小野 淳市	栄町
副会長	櫻井 清彦	井尻町	理事	山口 勝美	川合町	理事*	伊藤 充子	川合町
副会長	倉田 正明	小下町	理事	安土 昭義	和田団地1	理事*	田邊 弥生	栄町
副会長	西 和恵	和田団地3	理事	名越 平	栄町	監事*	中村 健太	クリーンタウン わだ
会計	石河 義弘	和田町	理事	佐熊 勲	川合町	監事*	角田 和也	川合町北
理事	早川 淳	川合町	理事*	木下 義一	和田町			

令和2年度 井田川地区南まちづくり協議会「事業計画」

井田川地区南まちづくり計画書に掲げたテーマに基づく事業の取り組み

- 1 地域の安心・安全
- 2 地域住民の交流と健康づくり
- 3 地域住民の生きがいつくり
- 4 地域環境の美化
- 5 地域文化の継承

事業の種類	予定日	予備日	実施場所
熟年グラウンドゴルフ大会	6月 未定		東野公園運動広場
「福祉の会」懇談会	中止		井田川地区南コミュニティセンター
ソフトボール大会	中止		東野公園ソフトボール場
親子ふれあいデー	中止		
敬老会	9月15日前後		各自治会毎
80歳以上友愛訪問	9月15日前後		各自治会毎
ふれあいグラウンドゴルフ大会	10月24日（土）	10月25日（日）	井田川小学校運動場
熟年長寿フェスティバル	10月 未定		東野公園体育館
趣味の作品展&ふれあいバザー	11月22日（日）		井田川地区南コミュニティセンター
子供向け事業（内容未定）	12月		
防災出前講座	未定		各自治会毎
「福祉の会」研修会	2月20日（土）		井田川地区南コミュニティセンター
成人教室（中央公民館出前講座）	年6回・第3金曜日		井田川地区南コミュニティセンター
環境整備（井田川駅前清掃活動）	5月、7月、9月、11月		JR井田川駅前広場

◆文化講座（中央公民館出前講座）『音楽ワールドツアー』

6月から1月 毎月第3火曜日 10:00~11:30 但し「6月、7月、8月は中止」

令和2年度 成人教室「実施内容」

- 1 開催場所 井田川地区南コミュニティセンター
- 2 開設日 7月から12月 毎月第3金曜日 13:30~15:00 但し「7月、8月は中止」

開設日	講座名	講座内容	予定講師
7月17日（金）	相手の気持ちに寄り添う聴く力	「心」を傾けて聴く技報を学びます。	小林 博子
8月21日（金）	まちのお巡りさん	地域の犯罪実例などから、自分を守る方法を学びましょう。	亀山警察署 職員
9月18日（金）	ハーモニカ世界妄想旅行	誰もが慣れ親しんだ懐かしい音色でお好きな情景を描き、世界旅行を楽しんで下さい。	中村 健

開設日	講座名	講座内容	予定講師
10月16日（金）	寄せ植えを楽しむ	当地区恒例の講座です。今年も皆でワイワイ、ガヤガヤと楽しみましょう。（実費 1000円が必要です。当日徴収します。）	岡安 順子
11月20日（金）	感染症対策	ウイルスによる発熱や下痢症状の予防を学びます。	市医療センター 看護師
12月18日（金）	みらいの希望	明るい夢や希望が持てる「コツ」をつかんでください。	海野 真人

新型コロナウイルス感染症について



1 感染予防施策 その1（三密）

新型コロナウイルス感染症は人から人に感染拡大する感染症ですので、多くの人が集まることは避ける、人が密接することは避ける、換気の悪い場所での集まりを避ける等が求められています。従って人と人が接触する商工業活動の自粛、観光活動の自粛、学校の休校、県をまたいで移動の自粛はこういった観点から感染予防上必要といわれています。

2 感染予防対策 その2（手洗い、マスク）

買い物等では誰が触ったかわからない買物カゴ、買物カート、ドアノブ等に触りますが、これらには、コロナウイルス菌が付いているかわかりません。感染予防の観点から、帰宅したら手洗いをすることで、感染防止上必要です。また人と人が接触することで、飛沫感染がおこりますがその予防策としてマスク着用は大切です。外に出る場合は必ずマスクを着用すること。

3 新型コロナウイルス感染検査法

報道で良く耳にするPCR検査法は綿棒を使って鼻の奥の粘液を採取し、ウイルスの有無や数を専用の検査機器を使って調べる方法で結果が出るまで4時間から6時間かかるそうです。従って保険適用がされた機器が少なく多数の検査ができていないのが現状です。大学の研究機関には対応できる検査機器があるそうですが、保険適用の関係で今は使用できないそうです。早く大学の機器が保険適用にすべきとの報道もありました。4月中旬には粘液の採取方法は同じですが簡易検査キットが承認されこれを用いれば30分程度で陽性か陰性かの判定ができるそうですが、これを用いれば町医者でも感染検査ができるということ注目されています。但しこの検査法の信頼度は90%ということで、陰性の場合専用の検査機器で再検査が必要とのことです。鼻の奥から粘液を採取する場合クシャミ等で菌が飛散するリスクがあり、粘液採取のとき防護対策が必要です。6月初旬に承認を目標に唾液の中に含まれるウイルスを判定する検査方法の開発が進んでおり、鼻の粘液採取と異なり、唾液の採取はリスクがないことから注目されています。

4 感染対策緩和後の対応

感染対策が緩和され、経済活動の緩和や学校再開等が再開されても、秋から冬にかけて再度の感染拡大の波がくるのではないかとされています。検査体制の拡充に伴い陽性者の数が増加すれば、陽性者の隔離と治療を行うための受け入れ体制の拡充が必要との報道がされています。

緊急事態宣言が解除されても、以前と同様の感染予防をしていかないと、コロナ発生以前の生活に戻れません。三密対応を頑張って継続して頂ければと考えます。

令和元年度事業報告

井田川地区『ふれあいマラソン大会』

1 開催日

令和2年2月1日（土） 8:00～11:00

2 参加者数75名（前年度 80名）

井田川南 40名（前年度 31名）、井田川北 35名（前年度 49名）

3 種目、成績

学 年	距離 (m)	男 子			女 子		
		1 位	2 位	3 位	1 位	2 位	3 位
1 年 生	740	倉田 陸吾	高野 嗣人	小林 凱	銘苅 凜音	山中 美咲	戸松 柚乃
2 年 生	740	當銘 優歩	若菜 圭人	山本 開翔	岡 咲那	柴田 寧々	毛利 裕香
3 年 生	890	山中 大地	野呂 一翔	植松 郁翔	隠 咲生	近藤 千紗	宮脇 芽彩
4 年 生	890	當銘 七誓	柳瀬 勇歩	先本 篤希	近藤 玲	大山 夏実	伊東さくら
5 年 生	1600	南牟礼琉心	畑中 政史		吉田 杏里		
6 年 生	1600	山下 來輝	今村 恭涼	岡 悠聖	近藤 唯菜	今井 楓華	鈴木 侑奈
中 学 生	1600	南牟礼健心					
高校生以上一般	1600	山中 宏文	植松 耕一	宮脇 健士	久保 友子		



「福祉の会」研修会

1 開催日

令和2年2月22日（土）

2 参加者数

34名

3 内容

- ◆ 「もしものときに役立つ損害保険」
- ◆ 講師 三重県金融広報委員会・稲垣氏

